

大坂夏の陣400年記念・白石城は開門20周年記念事業

白石城下梅花藻ライトアップ

6月12日(金)～8月15日(土) 18:30～21:00
武家屋敷と武家屋敷前の沢端川



▲6月12日に始まった「梅花藻のライトアップ」。
7月からは水中ライトアップも実施します

白石市内の武家屋敷の前を流れる沢端川に咲く梅花藻をライトアップします。あわせて武家屋敷のライトアップを行います。
梅花藻は蔵王山麓から流れる清涼な水と城下町の堀り割りがはぐくんだ貴重な植物で、水中に美しく可憐な小さい白い花を咲かせます。梅花藻は真田幸村の姫君で、後に白石城主片倉小十郎の妻となった「阿梅姫」をイメージさせる花であり、遠く西国から奥州の白石へ移り住んだ「阿梅姫」の可憐さ、はかなさを感じさせるものです。美しい堀り割りと夜の城下町散策をお楽しみください。

白石城月の宵祭り

7月30日(木)～8月2日(日) 19:00～21:00
白石城天守閣・武家屋敷



TOPICS

大阪夏の陣400年、白石城開門20周年を記念してピンバッチを作りました！白石城売店で1個250円(税込み)で販売中！



真田幸村公の法号「月心院単翁宗伝大居士」にあやかり、阿梅姫も見たであろう白石城からの月の眺めを体験するイベントとして「白石城月の宵祭り」を開催します。
白石城天守閣と武家屋敷を19時から21時まで夜間オープンし、入場は無料です。白石城と武家屋敷からの月の眺めをお楽しみください。
駐車場は、城下広場のほか、市役所前駐車場をご利用ください。

白石城月の宴

8月1日(土) 19:00～
白石城芝生広場



▲よさこい走乱白石城 ▲小野越郎さん

▲白石戦國武將隊奥州片倉組

白石城月の宵祭り開催に伴い、白石城芝生広場で「白石城月の宴」を開催します。仮設舞台を設置し、白石市観光大使である「白石戦國武將隊奥州片倉組」の演武、「小野越郎さん」による三味線の演奏、「よさこい走乱白石城」のよさこいパフォーマンスなどを開催します。照明装置により、舞台を浮かび上がらせ、白石城のライトアップとともに月の宵祭りにふさわしい演出を行います。

大坂夏の陣400年 白石城開門20周年



今年、平成27(2015)年の白石は
慶長20(1615)年の大坂夏の陣から400年
平成7(1995)年に復元された白石城は開門20周年を迎えます。

商工観光課 ☎22-1321

敵將小十郎にわが子を託した幸村
片倉小十郎景綱公は、子宝に恵まれなかった伊達政宗公への忠誠心から、わが子が生まれたなら直ちに命を奪うつもりだと言ったところ、それを聞いた政宗公がそれを止め、この世に生を受けたのが二代重長公です。重長公の初陣は慶長5(1600)年の白石城攻めで見事本丸への先登の功を挙げました。
慶長20(1615)年、重長公は大坂夏の陣で八日月と愛宕山大権現守護所と書いた前立物を付けて出陣しました。黒釣鐘の大馬酔を掲げ、伊達の先陣を切った姿が大坂夏の陣図屏風に描かれています。道明寺口において大坂城から出陣してきた薄田隼人正兼相、後藤又兵衛基次の軍と対峙しこれを打ち破り、その後真田幸村公と激戦を繰り広げ、鬼小十郎の名を天下に馳せ、片倉隊、伊達勢日本一の評価を受けました。
大坂城落城前夜、自らの死を覚悟した幸村公は、敵將重長公を知勇兼備の將と見込み、子女阿梅らの後事を託しました。重長公は阿菖蒲、大八らも白石城二の丸において密やかに養育したという説もあります。
長じて、阿梅は重長公の後室となり、阿菖蒲は田村定廣(後の片倉金兵衛)の妻に、大八は片倉四郎兵衛守信と名乗り、後に仙台藩士に取り立てられ、正徳2(1712)年守信の息子、辰信の時に真田姓に復しています。